

総合工学委員会分科会の設置について

分科会等名：未来社会と応用物理分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	総合工学委員会
2	委員の構成	40名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>安全・安心で環境に優しい未来社会を創り出すためには、科学技術の基盤をなす中核的な学問分野である応用物理学を中心に新たな課題を検討し、中長期の展望を掲げながら社会への貢献と当該分野の発展を進めることが求められている。物理学を基盤とする応用物理学は、化学などととも科学技術の礎であり、同時に全ての工学の基盤である。現在我が国が置かれている社会状況を把握し、未来社会を見据えながら、具体的な課題について柔軟で機動的な分野横断的な掘り下げと取り組みを行うため、分科会を設置する。</p> <p>本分科会は、応用物理学分野の研究開発のあり方について検討し、応用物理分野の将来ビジョンを明らかにして包括的提言を行うことを目指す。特に、世界トップレベルの研究成果を生みだし、社会において有効に活用していくために、産学官連携による研究協力体制のあり方についても他の理学・工学系委員会などと連携しながら検討する。同時に、次世代を担う人材の育成・教育について産学官協同で検討する場を設けることも視野に入れ、課題を検討する。</p>
4	審議事項	<p>1. 応用物理学分野を中心とした研究開発のあり方 2. 未来社会へ向けた施策と新たな融合分野創成の将来ビジョン 3. 産学官連携による研究協力のあり方 4. 次世代人材育成と教育 に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	平成29年11月24日～平成32年9月30日
6	備考	※事実上23期からの継続

